

## 参加人数表

区 分		男 子	女 子	計
選 手		(52校) 667人	(44校) 390人	(96校) 1057人
役員	一 般	75人	9人	84人
	高 校	115人	15人	130人
補 助 員		108人	40人	148人

関東大会期日：6月14日（金）～17日（月）

同 会場：東京都 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場

同 参加校：本大会6位（男女走高跳・男子棒高跳は6名）ただし、男女競歩5位、男女混成・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位（女子棒高跳は4名）

## 競技注意事項

- 1 本大会は、2024年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- 2 招集について、トラック競技は各競技開始時刻の15分前、フィールド競技は40～50分前に完了し、同時にアスリートビブスの確認を行う（棒高跳は現地で行う）。また、招集時刻が他の競技時刻と重なっている場合は同時出場届を、棄権する場合は、欠場届（用紙は招集所に準備）を招集開始時刻までに競技者係に提出する。リレー種目は各ラウンド第1組目の招集完了時刻60分前までにオナー用紙を招集所に提出する（オナー用紙は招集所に準備）。招集時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
- 3 アスリートビブスは、胸、背部に確実につけること。ただし、跳躍種目については片方だけでもよい。トラック競技は本部で用意した腰ナンバー標識を指定された位置につけること。腰ナンバー標識は競技開始直前に付け、終了直後に必ず返却する。
- 4 着順または時間を元に次のラウンド進出のための最後の1枠を決定するにあたり同成績者がいる場合、全員を有資格者とすべきであるが不可能であれば抽選によって決める。また、準決勝・決勝の走路順は本部で抽選によって決める。
- 5 競技用具は、会場備え付けの物を使用する。ただし、棒高跳のポールについては各自のものを使用してもよい。その他の物は、検定を行う場合があるが、許可なく競技場内に持ち込んではならない。
- 6 投てき練習は危険防止のため競技開始前、審判の指示によって行う。なお、練習会場（補助競技場等）での投てき練習は禁止する。メダルボールについては指定された区域で使用する。
- 7 以下のフィールド種目においては、計測基準記録を設ける。
  - 走高跳の最初の高さは、原則として男子1m70、女子1m40とする。バーの上げ方は5cmずつとし、男子は1m95より、女子は1m55より3cmずつとする。
  - 棒高跳の最初の高さは、原則として男子3m50、女子2m30とする。バーの上げ方は10cmずつとする。
  - 混成競技における走高跳の最初の高さは、審判員と総務で協議の上、決定する。バーの上げ方は、5cmずつとし、男子は1m60より、女子は1m45より3cmずつとする。
  - 三段跳の踏み切り板の位置は、原則として男子12m、女子9mとする。
  - 投てき種目は当日、審判員と総務で協議の上、計測基準記録を設けることがある。
- 8 競歩において、周回を残し、男子30分、女子32分を超えた者については、競技を打ち切るものとする。
- 9 混成競技において、棄権者が出た場合、組数を変更することがある。
- 10 入賞者（1位～6位）には賞状を授与する。
- 11 応援する際は、メインスタンドでの集団応援は禁止する。なおバックサイトスタンドでも競技に支障がないように配慮すること。横断幕や幟の設置は本部の指示に従って設置すること。
- 12 助力について、競技規則TR6.に従う。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像確認は認めない。TR6.4.5はサイドスタンドのみ適用する。
- 13 環境美化について、各大会で清掃分担が割り当てられているが、グラウンド・スタンド・選手控え所・トイレ・更衣室など、使用した周囲も含めて美化に努めること。ゴミは各自持ち帰りをすること。